



たかの
高野たけし
無所属 52歳
逗子市議会議員（6期）
・議会運営委員会委員長
・総務常任委員会委員
・基地対策特別委員会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

2020年に総務省が、「自治体DX推進計画」を策定、翌2021年にはデジタル庁が発足。2022年以後はデジタル庁のもと、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が適宜策定されています。こうした国の動きに呼応するように、本市でも2021年4月にデジタル推進課を設置し、「逗子市のデジタル・ガバメント推進についての方針」を発表、今年4月には全庁的なDX化を進めていくための指針とすべく、「逗子市DX推進ビジョン」が策定されたところです。

逗子市 DX 推進ビジョン

【ビジョン1 市民サービスのDX】

- ①自治体フロントヤード改革の推進
- ②公金収納におけるeLTAXの活用
- ③マイナンバーカードの普及促進と利用の推進
- ④行政手続きのオンライン化の推進
- ⑤GISの推進
- ⑥キャッシュレス決済の推進
- ⑦デジタルデバйд対策の推進
- ⑧説明会・相談等のリモート化を推進
- ⑨アナログ規制の見直し

【ビジョン2 職員業務のDX】

- ①自治体の情報システムの標準化・共通化を推進
- ②セキュリティ対策の徹底
- ③自治体のAI・RPAの利用を推進
- ④テレワークの推進
- ⑤EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進
- ⑥業務フローの見直しによる業務改善
- ⑦ペーパーレス化の推進
- ⑧公金収納の事務の合理化



【ビジョン3 DXを実現できる組織】

- ①デジタル・DX人材の育成
- ②DX推進体制の強化

政治資金の残り 61,727円

(令和6年9月～11月の内訳)

支出・・・ポスター掲示用両面テープ 5,484円

”逗子市DX推進ビジョン”の進め方 市長の見解は？

Q1:計画で示したビジョンを実現していく上で、年度ごとの進捗評価や国の方針変更に対応する仕組みはどのように構築していくのか？

➡ 計画の取り組みをロードマップに記載して進捗確認を図るとともに、必要に応じて事業内容の変更等にも対応していく。

Q2:職員のデジタルリテラシーの向上についてはどのように図っていくのか？

➡ デジタル化のマインドセットやデジタル技術を活用して業務改善を目指す研修等を実施していく。

Q3:デジタルデバйдの解消に向けての具体策は？

➡ 各地域で実施しているデジタル相談会を継続していくとともに、要望に応じて講習会等も開催していく。

Q4:AIやRPAの利用を推進していくとしているが、具体的な導入範囲や期待される成果は？

➡ 現時点では導入に向けた具体的な検証に至っていないが、最新の技術動向を把握し業務プロセスの見直しを実施した上でシステム導入の検討を進めていきたい。

- * デジタルリテラシー…デジタル技術を理解して適切に活用するスキル
- * デジタルデバйд…インターネットやパソコンのような情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる差
- * RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)…これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を人間に代わって実施できるルールエンジンやAI、機械学習等を含む認知技術を活用して代行・代替する取り組み

視察レポート ～観光資源の活用・香川県善通寺市～

善通寺市には四国88ヶ所巡りのうち総本山善通寺を含め5つの札所があるほか、大小約400基の古墳、旧陸軍第11師団が使用していた建造物などが残っているものの、宿泊施設も少なく通過型の観光地となっていたとのこと。



そこで・・・

①新たな特産品の創出

四角いスイカの栽培、β-グルカンを多く含む讃岐もち麦を使ったカレーやコロケ、焼酎等の製造・販売、独自の栽培方法で育てた糖度にこだわった複数のキウイフルーツの栽培など。

②歴史、伝統を感じられるアイテム

国内だけでなくインバウンド誘客を目的に、各寺で本物志向の体験ができる「五感体験 善通寺」を企画、旅行業者を通じてツアーとして商品化。

曼荼羅寺:茶会・和菓子づくり体験(触覚)、出釋迦寺:かな文字書道体験(視覚)、甲山寺:瞑想体験(聴覚)、善通寺:精進料理体験(味覚)、金倉寺:香袋づくり体験(嗅覚)。

③小規模な山や池などの自然美

弘法大師空海御誕生地であり、瀬戸内海国立公園にも指定される五岳山(香色山・筆ノ山・我拝師山・中山・火上山)を巡る「空海ウォーク」、約15kmのコースを走る「空海トレイル」をそれぞれ開催。

こうした取り組みにより県内外からの観光、特に目的を持って訪れる方が増加したとのことでした。

本市においても逗子海岸をはじめ、まんだら堂やぐら群のある名越切通、神亀元年(724年)に開山された神武寺、現存する遺構としては神奈川県内最大級の規模を誇る長柄桜山古墳群などの名所、小坪漁港に水揚げされるシラスなどの海産物を観光資源として活用できないか改めて考えるきっかけとなりました。

Topics

■ 生ごみの分別処理が延期に!?

逗子市と葉山町は連携して生ごみの分別資源化処理に向けた準備を進めており、12月に資源化処理施設が葉山町に完成し、来年1・2月に試験運転、3月から本格稼働する予定となっていました。しかしながら試験運転まであと1ヶ月と迫ったところで、葉山町から資源化処理施設の建設が計画より数ヶ月遅れているため完成までの間は民間処理施設に搬出したいとの申し入れがあったそうですが、逗子市としては今後の見通しが不透明であると判断し、生ごみの分別収集を予定していた来年3月から延期するとの市長報告がありました。今後、試験運転が正式に始まった段階で改めて市民への周知、指定袋の販売、収集委託業者の手配などを行なっていくとのこと。これまでに40回を超える市民説明会を重ね、生ごみの分別収集に向けて市民意識も高まってきていただけに今回延期となったことは残念でありませんが、本市での生ごみ分別処理がリスタートできるよう、葉山町とは密に協議機会を設け、これ以上市民生活に負担をかけることがないよう事業を進めて頂きたいと思っています。

■ 逗子市犯罪被害者等支援条例を制定

神奈川県内10自治体で同様の条例がすでに制定されていますが、逗子市でも今定例会において全会一致をもって可決、制定されることとなりました。

【逗子市犯罪被害者等支援条例の特徴】

- (1)市、市民等、事業者の責務の明確化
犯罪被害者等支援に対する市、市民等及び事業者の責務を明らかにし、関係機関等との適切な役割分担のもと、連携及び協力して支援に取り組む。
- (2)総合支援窓口の整備
犯罪被害者等が日常生活等を円滑に営むことができるよう、抱える悩みや苦しみなどの様々な問題について相談を受け、必要な情報の提供及び関係機関との連絡調整を行う。
- (3)二次的被害及び再被害の防止
知り得た情報を漏らさないよう細心の注意を払い、犯罪被害者等の個人情報については厳に適正に取り扱うこととする。
- (4)犯罪被害者等への支援
犯罪被害者等が日常生活等を円滑に営むことができるよう、経済的負担の軽減や日常生活の支援、居住の安定に関する支援等、個々の事情に応じた支援を行う。